

2023年度 事業報告書

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

2023 年度 事業報告

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

1. 法人総括報告

「CEATEC 2023」は幕張メッセでの開催とともに、コンファレンスはオンライン配信に加えて4年ぶりに幕張メッセで実施した。「Inter BEE 2023」は、2022年に続き幕張メッセ会場とオンライン会場での開催となった。引き続き主催者と緊密に連携しながら、リアルとオンラインを活用し、出展企業のビジネスへの貢献を図った。また、経済発展と社会課題の解決を両立する Society 5.0 を基軸とした共創の場として、関連産業のみならず関係省庁、国内外の関係団体と緊密に連携し、あらゆる産業、業種の人々や技術、情報が集い「共創」によって未来を描く業界団体が主催する展示会ならではの企画、運営に努めた。

「CEATEC 2024」は2月8日に開催概要説明会を実施し、2月15日より出展申込受付を開始した。「Inter BEE 2024」は3月1日より出展申込受付を開始した。

事務局運営では、オフィス勤務と在宅勤務を併用しながら効率よく業務を進めるとともに、継続的な協会運営のため事務局業務の見直しについて検討した。

2. 協会運営事業実施報告

総会、理事会、運営役員会等の協会運営に関する重要事項を審議する会議は、書面審議、オンライン会議にて開催し、円滑な運営を行った。

(1) 総会

①第20回通常総会（書面）（2023年6月1日）を開催し、次の議案を決議した。

- ・2022年度事業報告及び決算報告承認の件
- ・2023年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件
- ・役員選任の件

②第21回臨時総会（書面）（2023年12月6日）を開催し、次の議案を決議した。

- ・2023年度事業計画（変更案）承認の件
- ・2023年度収支予算（変更案）承認の件
- ・役員選任の件

(2) 理事会

①第63回理事会（書面）（2023年5月17日）を開催し、次の審議事項を承認した。

- ・2022年度事業報告（案）承認の件
- ・2022年度決算報告（案）承認の件
- ・役員選任（案）承認の件

- ・ 書面決議による第 20 回通常総会の議案承認の件
- ・ 会員の入会承認の件
- ②第 64 回理事会（書面）（2023 年 6 月 1 日）を開催し、次の審議事項を承認した。
 - ・ 代表理事・執行理事の選定
 - ・ 会長・副会長・専務理事の役職役員の選定
- ③第 65 回理事会（書面）（2023 年 11 月 20 日）を開催し、次の審議事項を承認した。
 - ・ 2023 年度事業計画（変更案）承認の件
 - ・ 2023 年度収支予算（変更案）承認の件
 - ・ 役員選任（案）承認の件
 - ・ 書面決議による第 21 回臨時総会の実施承認の件
 - ・ 業務執行状況報告
 - ・ 会員の退会及び会員数の報告
- ④第 66 回理事会（書面）（2024 年 3 月 27 日）を開催し、次の審議事項を承認した。
 - ・ 2024 年度事業計画（案）承認の件
 - ・ 2024 年度収支予算（案）承認の件
 - ・ 業務執行状況報告
 - ・ 会員の退会及び会員数の報告

(3) 運営役員会

- ①第 59 回運営役員会（2023 年 5 月 11 日）をオンライン会議にて開催し、次の事項を審議した。
 - ・ 第 63 回理事会（書面）提案事項の件
 - ・ 第 20 回通常総会（書面）提案事項の件
 - ・ 第 64 回理事会（書面）提案事項の件
- ②第 60 回運営役員会（2023 年 11 月 6 日）をオンライン会議にて開催し、次の事項を審議した。
 - ・ 第 65 回理事会（書面）提案事項の件
 - ・ 第 21 回臨時総会（書面）提案事項の件
- ③第 61 回運営役員会（2024 年 3 月 14 日）をオンライン会議にて開催し、次の事項を審議した。
 - ・ 第 66 回理事会（書面）提案事項の件

3. 展示会事業実施報告

3-1 「CEATEC 2023」

(1) 実施状況

CEATEC 2023 は、共創の場として、展示を「見て」、コンファレンスを「聴いて」、未来の社会を「感じて」「考えて」、共創に向けて「動き出す」ことを指す「CEATEC 体験」による、新しい形の「デジタルイノベーションの総合展」を志向し、10 月 17 日（火）から 20 日（金）までの 4 日間、幕張メッセにて開催した。

開催規模は、出展者数 684 社／団体（うち海外：21 カ国／地域から 195 社／団体）、開催期間中の登録来場者数は、合計で 89,047 名であった。開催期間中に来場した報道関係者は 643 名で、CEATEC

に関する情報が国内外のオンラインニュース、テレビ、新聞等で連日発信された。

10月17日（火）からの幕張メッセでの開催に先立ち、10月16日（月）にパレスホテル東京にてオープニングレセプションを開催した。一般社団法人電子情報技術産業協会 小島 啓二 会長による主催者代表挨拶、ご来賓として岸田 文雄 内閣総理大臣、鈴木 淳司 総務大臣、西村 康稔 経済産業大臣、河野 太郎 デジタル大臣、一般社団法人 日本経済団体連合会 澤田 淳 副会長をお迎えし、ご祝辞を頂戴した。各社経営幹部、大使館関係者、官公庁関係者など、約700名にご参集いただき、参加者同士の懇親を図った。

また、「CEATEC AWARD 2023」大臣賞表彰を実施し、大臣から直接、賞状と盾の授与とともに大臣賞の展示も行い、大臣を始め参加者にご覧いただいた。

(2) 収支報告

本年は684社／団体が出展し、その出展料および広告・施設関連等の収入を含む本事業の収益合計は420,804,425円となった。それに対する事業費支出は348,404,474円、法人運営（人件費、事務所家賃等）の振替85,000,000円を加算した支出合計は433,404,474円となり、単年度収支差引は、
▲12,600,049円となった。

前年度繰越金16,680,387円と本年の収支差引額の合計4,080,338円が、次年度繰越額となった。

(3) エリア構成

①アドバンスドテクノロジーエリア

Society 5.0の実現に向けたテクノロジー全般のエリア。

②キーデバイスエリア

Society 5.0の実現を支える電子部品や電子デバイスのエリア。最新のキーテクノロジーデバイスを展示、デバイスの進化と革新的な機能を体感。

③パートナーズパーク

独自テーマを設定し、あらゆる産業・業種のパートナーとともに Society 5.0 の未来社会を体現する「共創」エリア。「心ゆたかな暮らし」(Well-Being)と「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)を実現するデジタル田園都市国家構想をテーマに設定。社会全体のDXのあり方や未来の暮らし、それを支えるテクノロジーなど、130を超える企業がパートナーとして参画し、「共創」による展示によって発信。

④スタートアップ&ユニバーシティエリア

未来を担う国内外のスタートアップ企業および研究成果の社会実装を目指す大学・教育機関が出展するエリア。革新的なアイデアや新しいビジネスモデルを持つスタートアップ企業や大学研究機関が集結。最新の技術や創造力を駆使し、未来を切り拓く技術やサービスを展示。

⑤グローバルエリア

海外諸機関がパビリオンを展開、各国・地域を代表するスタートアップや企業が集まるエリア。アメリカ、ウクライナ、カナダ・オンタリオ州、台湾、デンマーク、フィンランド、フランス、UAEがグローバルパビリオンを設置。

⑥コンファレンス

リアル会場でのコンファレンスを4年ぶりに開催。幕張メッセとオンラインで200を超える多

彩なセッションを開催。また、国際会議場でのセッションに加えて展示会場でオープンステージを展開。『AI リアルタイム翻訳システム』を試験導入、40 以上の言語に対応。

(4) CEATEC AWARD 2023

「Society 5.0」の実現を促し、新たな価値と市場の創造・発展に貢献、関係する産業の活性化に寄与することを目的として実施するもので、CEATEC AWARD 2023 審査委員会による厳正な審査により選出された。

①総務大臣賞

「空間セキュリティマネジメントソリューション」

株式会社東芝

②経済産業大臣賞

「金属インクジェット印刷技術を用いた環境負荷低減 PCB」

エレファンテック株式会社

③デジタル大臣賞

「世界最小最軽量級のカメラ「働く」を変える。リアルタイム映像 DX
ソリューション"Xacti LIVE"（ザクティライブ）」

株式会社ザクティ

④部門賞

＜アドバンスドテクノロジー部門＞

・グランプリ

「高品質な GaN 系微小光源を作製するための micro-LED／micro-レーザー用独自基板と新工法」

京セラ株式会社

・準グランプリ

「省電力 AI プロセッサ MN-Core™ シリーズ」

株式会社 Preferred Networks

「おいしさが見える化」が創る未来の食卓 ～野菜・果物・茶葉などの
スマホ等での撮影画像からの AI 解析による食味判定と情報化～」

マクタアメニティ株式会社

＜デバイス部門＞

・グランプリ

「指先が持つ繊細な感覚を可視化するマルチフィジクス・ナノ触覚センシング」

国立大学法人香川大学 JST-CREST

・準グランプリ

「ガラス建材一体型ペロブスカイト太陽電池」

パナソニック グループ

＜コ・クリエイション（共創）部門＞

・グランプリ

「建設段階のデジタルツイン基盤 CONNECTIA 活用による現場 DX 実現」

株式会社大林組

・準グランプリ

「いっしょに考えます、トイレのこと「A-SPEC」」

株式会社 LIXIL

<スタートアップ部門>

・グランプリ

「エアモビリティ社会を支える小型高性能ポータブルドップラー・ライダー」

メトロウェザー株式会社

・準グランプリ

「TL-SENSING™ ～人肌や吐息さえも高速検知。「熱」を可視化して異常現象を 0.01 秒キャッチ～」

TopoLogic 株式会社

<グローバル部門>

・グランプリ

「ARC SYSTEM」

R2C2 Limited (香港)

・準グランプリ

「カーディオモ ～遠隔での心臓モニタリングを実現する AI ヘルスケアソリューションの開発～」

Cardiomo (ウクライナ)

受賞した各社の栄誉を称え、会期中、大臣賞・各部門のグランプリ・準グランプリの内容を中央エントランスの会場正面に掲示し、CEATEC の見どころとして来場者に紹介した。また、公式サイト内に特設ページを設け、オンラインでの情報発信を行った。

(5) 出展者数／登録来場者数

①出展者数 (684 社／団体)

アドバンスドテクノロジーエリア	237
キーデバイスエリア	90
パートナーズパーク	133
スタートアップ&ユニバーシティエリア	153
グローバルエリア	68
公式 Web サイトのみ	3

②海外出展状況 (21 カ国／地域・195 社／団体)

アジア地域	8 カ国/地域・111 社／団
北米地域	2 カ国/地域・43 社／団体
欧州地域	8 カ国/地域・32 社／団体
中東地域	2 カ国/地域・7 社／団体
オーストラリア地域	1 カ国・2 社／団体

③登録来場者数（幕張メッセ）

10月17日（火）	10月18日（水）	10月19日（木）	10月20日（金）	合 計
20,505 人	20,301 人	22,666 人	25,575 人	89,047 人

3-2 「Inter BEE 2023」

(1) 実施状況

Inter BEE 2023 は、「コンテンツ」を中核として、コンテンツを「つくる（制作）」、「おくる（伝送）」、「うける（体験）」のすべてを網羅した、プロオーディオ、映像、放送、通信、プロライティング、配信関連のプロフェッショナルをはじめ映像・メディア業界の技術者、クリエイター、ステークホルダーが一堂に会する日本最大級のメディア総合イベントとして、幕張メッセ会場（11月15日（水）～17日（金））とオンライン会場（11月6日（月）～12月15日（金））にて開催した。

メディアの変革・拡張と共に、幅広い産業分野での動画制作ニーズの広がりや先端コンテンツ技術、メタバース、AI など、コンテンツ制作分野の新潮流とメディアとエンターテインメントの可能性などメディア産業の最新動向について、関連業界団体等と協力し、多彩なコンファレンスのセッションや特別企画を実施した。新たなビジネス、新たなかたちのコンテンツの創造に向けた、多様な情報交流の機会を構築した。

出展者数は1,005社／団体（うち海外：37カ国／地域から528社／団体）、開催期間中の登録来場者数は、幕張メッセ会場31,702名、オンライン会場13,992名だった。

(2) 収支報告

本年は1,005社／団体が出展し、その出展料および広告・施設関連等の収入を含む本事業の収益合計は、464,868,425円となった。それに対する事業費支出は385,927,835円、法人運営（人件費、事務所家賃等）の振替66,000,000円を加算した支出合計は451,927,835円となり、単年度収支差引は12,940,590円となった。前年度繰越金21,506,479円と本年の収支差引額の合計34,447,069円が、次年度繰越額となった。

(3) 開催概要

①名称：Inter BEE 2023

②会期：2023年11月15日（水）～17日（金）

※オンライン会場は、2023年11月6日（月）～12月15日（金）まで公開

③場所：幕張メッセ（千葉市・美浜区）／オンライン（<https://www.inter-bee.com>）

(4) 特別企画コンファレンス／特別企画イベント

①INTER BEE FORUM

基調講演および特別講演では、メディア・エンターテインメント業界のエキスパートが集結し、業界の最新技術動向や新しい発想を提案する多彩なセッション、またテーマを絞った内容の濃いディスカッションまで多岐にわたるコンファレンスを実施。

②INTER BEE CREATIVE

映像制作のプロフェッショナルに向けた最新制作ツールと活用テクニックの提案や映像作品事

例等を展示とプレゼンテーションで発信。また、動画マーケティング分野に特化した制作会社やクリエイターとマーケットターや広報担当者が交流できる出会いの場も提供。

③INTER BEE BORDERLESS

INTER BEE CONNECTED から INTER BEE BORDERLESS に進化。放送と通信の融合が現実化し、多様なビジネスの可能性が膨むなか、新たな進化に向けた新規取り組みや更なる課題が発見できる場として展開。

④INTER BEE EXPERIENCE : X-Speaker

国内最大の SR スピーカー試聴体験イベント。今年は 13 製品が登場。一年に一度のワールドクラスのスピーカー試聴体験空間を実現。

INTER BEE EXPERIENCE : X-Headphone/X-Microphone

プロフェッショナルユースのヘッドフォンとマイクロフォンの様々な特長が実感できる企画展示が 4 年振りに復活。周囲を気にせずに自由にプロユースの高音質を試聴体験。

⑤INTER BEE IGNITION×DCEXPO

劇的な変化を遂げる AI 技術や先端コンテンツ技術、先進映像技術を発信し、メディア・エンターテインメント産業の未来と可能性を追求。革新的なイノベーションに挑戦するスタートアップも集い、産業に変革を起こすパートナーとの出会いを提供。

⑥INTER BEE IP PAVILION

昨年の放送局の制作 IP システム再現から昇華させ、複数の放送局と外部データセンター連携を実現。更に一部システムの体感が可能。例年のリレーセミナーに加えてブースツアーも実施。技術、事例の双方の最新情報を提供。

⑦出展者セミナー

製品、技術、サービスなど出展者が詳細にわかりやすく説明するセミナーをリアルで開催。ブース展示と併せてご覧いただくことにより知識や理解を深めていただいた。

(5) 同時開催

①第 60 回民法技術報告会（主催：一般社団法人 日本民間放送連盟）

11 月 15 日（水）から 17 日（金）の 3 日間、幕張メッセ 国際会議場 3 階にて開催した。

②全映協フォーラム 2023 in 幕張（主催：一般社団法人 全国地域映像団体協議会）

11 月 16 日（木）に幕張メッセ 国際会議場 1 階にて開催した。

(6) 出展者数

1,005 社/団体（うち海外 37 カ国/地域、528 社）

展示部門	出展者数		
	日本	海外	合計
プロオーディオ	101	165	266
エンターテインメント/ライティング	68	33	101
映像制作/放送関連機材	237	278	515
メディア・ソリューション	71	52	123
合 計	477	528	1,005

(7) 登録来場者数

①幕張メッセ

11月15日(水)	11月16日(木)	11月17日(金)	合 計
11,300 人	10,285 人	10,117 人	31,702 人

②オンライン：13,992 人（11月6日（月）～12月15日（金））

以 上